



わたしたちの作品



かみ あつ ましろう ねん
上厚真小 4年

かい ぬま なつみ
海沼 なつ実さん (10)

「自分の顔を鏡で見ながら版画を彫ったんだよ。リコーダーと指の細かなところに気を配りました！」

かみ あつ ましろう ねん
上厚真小 4年

やま だ ゆうすけ
山田 勇助くん (10)

「鍵盤ハーモニカを弾いている自分です。ぼくが真剣に楽器を演奏する雰囲気がでてるでしょ！」

ぼくの・わたしの
クラスじまん

ともだちっていいな



その76 あつま ちゅうがっこう
厚真中学校



紹介してくれたのは…

厚真中学校3年生のみなさん

(書いてくれたのは) 宮崎 翔平くん

僕たち3年A組は、いつも元気で楽しく学校生活をおくっています。
学校行事の体育祭は、クラス対抗の「しばって走れ」でみんなが集中して新記録を出して優勝しました。
学校祭では、壁新聞、演劇、合唱で三冠を取りとてもうれしかったです。演劇は一人ひとりが役になりきり、2年生のときよりいい演劇になりました。合唱は、練習のときは全然いい合唱ができなかったけど、本番が近づくにつれて、みんなの気持ちが高まり、本番では心一つにして、3年の中では一番いい合唱になったと思います。
学校生活もあと少しなので、悔いの残らないよう学校生活をおくりたいと思います。
振り返ってみると、日々の積み重ねで僕たちは成長してきました。そしてもうすぐ、僕らは天国の友とともに中学校を卒業します。

厚高インフォメーション



106



行事満載の2月

二月一日、二年生が町のランタン祭りに協力しました。全員でランタンを並べに河川敷へ行き、ドラえもんやランタンを作りました。二年生の武田さんは「全体のバランスをとるのが難しく苦労したが、友達や先生と協力して楽しみながらできた。なかなか体験できなかったことなので、学校行事としてやれてよかった」と話していました。翌晩、橋の上から見たランタンの光はとてもきれいに輝いていました。

二月八日、一、二年生を対象に日高国際スキー場でスキー体験学習が行われました。本校生徒の多くが高校で初めてスキーを体験します。級ごとに分かれ、それぞれのレベルに合わせた練習をしました。当日は天候に恵まれ、生徒は年一回のスキーをととても楽しんでいました。一、二年生はほかにも予餞会、合格体験発表会があり、先日学年末考査を終えたところです。

三年生は二月七日から家庭学習に入り、三月一日に卒業式を迎えました。高校生活三年間で大きく成長した二十九人は、夢と希望を胸に進学、就職それぞれの道へ旅立っていきましました。

今月の記念日

3月27日は「さくらの日」

万葉の昔から人々に愛され、親しまれてきたさくらをとおして、日本の自然や文化について国民の関心を高めるため、財団法人日本さくらの会が一九九二年に制定しました。同会はさくらの愛護、保存、育成、普及などを目的に、一九六四年に設立されました。当時は急激な開発や公害、保護管理の放任などにより、全国的にさくらが衰退し悲惨な状況にあり、その復興が急務と考えられたのです。

同会ではさくらの植樹や愛護、さくら名所の保全、名木・巨木保存、さくらを通じた国際親善事業のほか、「さくら祭り中央大会」などの関連イベントの開催、さくらに関する相談、情報提供を行っています。配布事業により、設立以来、全国の公園、河川、道路沿線、学校、公共施設周辺などに約三百万本のさくらが植樹されました。一九九八年からは、さくらの植樹と愛護を国民運動として盛り上げるため「さく

ら植樹・愛護運動」を展開しています。サクラは主として北半球の温帯に広く分布していますが、美しい花の咲く種類はアジアに多く、日本列島が中心です。ヤマザクラ、オオシマザクラなどのように山野に自生する野生種と、染井吉野や普賢象など観賞を目的に作られた園芸品種の二つに大別されます。日本には変種を合わせて百以上のサクラが自生しており、これから育成された園芸品種は二百以上になります。

さくらといえばお花見。日本では一月下旬、南の沖縄を皮切りに北の北海道まで約四力月にわたり桜前線が日本列島を縦断します。前線の動きを気にしながら、今年のお花見はどこに出掛けようかと楽しみにしている方も多いでしょう。日本さくらの会では、全国のさくらの名所が紹介されていますので、活用してみてください。

文芸あつま ◆短歌◆

水源地を見ると一山越えて来て一面に咲く福寿草にあふ

(本郷 木村 洋子)

保育園に通ふ子供を歌に詠みし頃を想ひて嫁と語らふ

(本郷 矢部 慧子)

雪融けて枯れ葉集むる庭隅に幼なの探すミニカー出てくる

(本郷 飛谷 文子)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十三号』から抜粋)